

# ブナの里

深緑の葉と樹皮が色濃く茂る黒松内町ブナの小道のブナの樹々

写真提供：黒松内町ブナセンター

- ◇ 2025年度 法人事業報告・収支決算書・・・・・・・・・・P2～6
- ◇ 法人各事業所の2025年度事業報告・・・・・・・・・・P7～12
- ◇ 2026年度 特定技能辞令交付式・研修会・・・・・・・・・・P14～15

## 社会福祉法人 黒松内つくし園

## 2025年度事業報告

## I. 概括

2025年度は、各事業所でもより良い自立支援サービスを提供するため、法人理念・倫理綱領に沿った事業運営を行いました。

法人運営では、昨年4月より14拠点39サービス区分での体制でスタート。健全経営へ向けた取り組みの強化として、利用定員の見直しや適正人員配置等の検討を進めました。特に黒松内町の高齢者施設の経営不振への対応を進め、緑ヶ丘老人ホーム・ハイツ一体運営へ向けて、特別養護老人ホーム緑ヶ丘ハイツを昨年4月より1フロア42名での運営を開始しました。

6月の役員改選では、理事長に岡久孝雄前監事を選任。評議員10名と理事9名の新体制のもと、役員員一丸となって法人運営行っています。

これまでの人材の確保・定着

と働きやすい職場づくり・職員待遇改善への法人の取り組みが評価され、「北海道働き方改革推進企業・SPゴールド表彰」を受けました。

そして、D&I・SDGsの推進や、地域・社会貢献事業への取り組みを継続してまいりました。

## II. 事業計画の実施状況

## 1. サービスの質の向上と利用者満足度アップ

※各事業所の利用者サービス計画実施状況について、法人内部監査で個別に訪問実地監査を行った。書類保存の不備や指摘事項をまとめ、内部監査報告を施設に到達し、適正に運営されていることを確認。

※苦情解決委員会を計画通り2ヶ月毎に開催、苦情内容の情報を委員会でも共有し、苦情件数の削減へ向けた取り組みを行っている。

※リスクマネジメント委員会と虐待防止委員会を定期的に開催し、利用者サービス・満足度向上へ向けての取り組みを継続。

6月に外部講師による法人職員虐待防止研修会を実施。10月にも法人全体でアンガーマネジメント研修を実施し、職員の意識向上とスキルアップを図っている。

※各施設の研修・委員会等で利用者サービス向上、業務改善へ向けた取り組みを実施している。

※各事業所で利用者支援システムのICT化を推進。サービス向上と業務効率化、職員の負担軽減への取り組みをさらに進める。

## 2. 法人経営健全化への適正な事業所運営体制確立

※4月より、認定こども園黒松内保育園保育定員を40名に変更。

また、黒松内町の委託を受け、黒松内町地域包括支援センターの運営を開始。4月からは俱知安在宅介護拠点が廃止となり、14拠点39サービス区分での法人経営体制となった。

※しりべし学園成人寮生活介護サービス利用定員を9月より定員60名から50名に減員。また、障がい者グループホーム「いず

みホーム」の利用定員を10月より定員25名から24名に減員した。

※6月の役員改選において、理事長に岡久孝雄前監事を選任。

また、遊部業務執行常務理事、吉田業務執行理事、理事・顧問に大代前理事長を選任。新たに佐藤雅彦氏を理事に、高野裕和氏を評議員に選任した。新体制のもと、役員員一丸となって法人運営を行っている。

※昨今の最低賃金上昇等による人件費高騰は著しく、光熱費や食材・消耗品等の物価高騰は経営に深刻な影響を与えている。

そのような中、新電力への移行を今年度実施し、年間で600万円超の経費削減を図ることができた。

※旧緑ヶ丘ハイツ建物の解体工事実施と跡地の活用方法について、黒松内町と協議を進め、4月1日付で土地建物を無償譲渡した。

## 3. 人材確保・育成と職員待遇・労働環境改善への取り組み強化

※4月新卒採用者9名・既卒採

用者7名を迎え職員数436名でスタート、3月までに38名を採用し、退職者47名、3月末現在で法人全体職員数427名となっている。

＊求人サイトやイベント等の参加を検討。また、4月から法人人材センターを休止とし、人事部及び各施設長・副施設長等による学校訪問、他人材派遣会社による学校訪問、他人材派遣会社

の活用で対応している。  
＊2025年度から特定技能ミヤンマー12名を採用予定であったが、諸事情によりインドネシアに変更し、本年12月に12名が着任。

＊昨年度に受賞を受けた「北海道働き方改革推進企業ゴールド認定」と「北海道働きやすい介護の職場認定」を励みに職員待遇改善をさらに推進。11月には「北海道働き方改革推進企業」の中で特に優れた取り組みとして評価され「SPゴールド表彰」を受けた。今後も職員育成・定着、働きやすい職場づくりをさらに進めていく。

＊職員の福利厚生の一環として、設置型の100円から買える健

康社食を導入し、職員から好評を得ている。

＊昨今の労務トラブルや各ハラメント増加への対応として、7月に法人労務管理研修・ハラメント研修を実施した。

#### 4. D&I・SDGsへの取り組みと発信力強化

＊ジェンダーレスやLGBTQへの対応として、事実婚・同性パートナーに対する福利厚生制度の適用を実施・継続。

＊多文化共生社会への取り組みとして、多国籍の職員が在籍する法人所有外国人住宅での水道光熱費を、個人負担の上限を設け差分を福利厚生の一環として法人負担。2026年3月現在でベトナム人3名、カンボジア人4名、インドネシア人31名、ネパール人1名、タイ人1名の合計40名の外国人が在籍。多国籍の職員が介護・障がい福祉サービス業務に従事している。

#### 5. 法人本部集中化・業務効率化のさらなる推進

＊内部管理体制の基本方針に基

づき、内部統制・コンプライアンス強化のための取り組みを継続。法人本部の総務・人事・財務部門の3部署がそれぞれ適切且つ円滑な業務執行の実効性を高めるための取り組みを実行。

＊財務業務のICT化・本部集中化、事務省力化へ向けて、4月から財務会計システムと電子仕訳作成システムの全拠点での運用を開始し、本則課税によるインボイス制度への対応を行った。

＊人事業務ICT化へ向けて、人事管理・職員との個人情報共有システムアプリの運用と労務管理・給与管理業務の人事部集中化を継続。人事業務ICT化へのさらなるシステム強化のため、勤怠管理アプリの2026年度からの導入・運用開始を決定した。

＊会計監査法人の監査契約を継続し、適正な会計処理・財務諸表開示を実施。また、新財務会計システム導入と本部集中化のさらなる推進により、正確かつ統一された会計処理を推進。また、法人各拠点の適正な予算立

案・作成・管理と経営分析、資産管理を円滑に行っていく。

#### 6. 地域貢献事業の推進

＊配食サービス・奨学金支給等は継続して実施。

＊各施設の行事等は感染対策を強化して、各行事で家族等が参加し開催した。

＊各施設で介護・保育実習の受け入れを行い、採用増に繋がっている。今年度はボランティア含め202名を受け入れた。

＊黒松内保育園の社会貢献事業として、子育て一時預かりサービスと土曜保育を継続して実施。「小中学生夏休み冬休みボランティア受け入れ」事業では、小中学生が保育に関わり触れ合う機会を提供している。

＊慶和園在宅要介護者受入事業は、北海道の要請がなく3月末日現在未実施。

その他詳細な事業報告につきましては、当法人ホームページにて情報開示していますのでご覧下さい（本誌裏表紙URL参照）。

第一号第一様式

## 法人単位資金収支計算書

(自)2025年4月1日(至)2026年3月31日

(単位:円)

|                                 | 勘定科目                    | 予算(A)         | 決算(B)         | 差異(A)-(B)   | 備考 |
|---------------------------------|-------------------------|---------------|---------------|-------------|----|
| 事業活動による収支                       | 収入                      |               |               |             |    |
|                                 | 介護保険事業収入                | 1,237,787,000 | 1,246,926,565 | △9,139,565  |    |
|                                 | 老人福祉事業収入                | 319,939,000   | 323,075,504   | △3,136,504  |    |
|                                 | 児童福祉事業収入                | 469,412,000   | 470,376,080   | △964,080    |    |
|                                 | 保育事業収入                  | 104,929,000   | 112,237,423   | △7,308,423  |    |
|                                 | 就労支援事業収入                | 44,041,000    | 37,681,024    | 6,359,976   |    |
|                                 | 障害福祉サービス等事業収入           | 786,837,000   | 795,409,248   | △8,572,248  |    |
|                                 | その他の事業収入                | 43,225,000    | 42,743,600    | 481,400     |    |
|                                 | 経常経費寄附金収入               | 7,100,000     | 7,238,154     | △138,154    |    |
|                                 | 受取利息配当金収入               | 5,955,000     | 6,435,628     | △480,628    |    |
|                                 | その他の収入                  | 45,611,000    | 46,385,773    | △774,773    |    |
|                                 | 事業活動収入計(1)              | 3,064,836,000 | 3,088,508,999 | △23,672,999 |    |
|                                 | 支出                      |               |               |             |    |
|                                 | 人件費支出                   | 1,766,450,000 | 1,770,473,614 | △4,023,614  |    |
| 施設整備等による収支                      | 事業費支出                   | 695,272,000   | 668,114,694   | 27,157,306  |    |
|                                 | 事務費支出                   | 418,410,000   | 399,424,778   | 18,985,222  |    |
|                                 | 就労支援事業支出                | 40,929,000    | 44,462,760    | △3,533,760  |    |
|                                 | 利用者負担軽減額                | 11,074,000    | 11,244,905    | △170,905    |    |
|                                 | 支払利息支出                  | 5,208,000     | 5,092,133     | 115,867     |    |
|                                 | その他の支出                  | 31,929,000    | 31,972,576    | △43,576     |    |
|                                 | 流動資産評価損等による資金減少額        | 312,000       | 404,346       | △92,346     |    |
|                                 | 事業活動支出計(2)              | 2,969,584,000 | 2,931,189,806 | 38,394,194  |    |
|                                 | 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)   | 95,252,000    | 157,319,193   | △62,067,193 |    |
|                                 | 収入                      |               |               |             |    |
|                                 | 施設整備等補助金収入              | 75,868,000    | 76,928,000    | △1,060,000  |    |
|                                 | 施設整備等寄附金収入              | 3,000,000     | 3,100,000     | △100,000    |    |
|                                 | 固定資産売却収入                | 70,000        | 70,000        | 0           |    |
|                                 | 施設整備等収入計(4)             | 78,938,000    | 80,098,000    | △1,160,000  |    |
| その他の活動による収支                     | 支出                      |               |               |             |    |
|                                 | 設備資金借入金元金償還支出           | 55,082,000    | 55,082,000    | 0           |    |
|                                 | 固定資産取得支出                | 90,531,000    | 90,485,063    | 45,937      |    |
|                                 | ファイナンス・リース債務の返済支出       | 15,992,000    | 15,763,860    | 228,140     |    |
|                                 | 施設整備等支出計(5)             | 161,605,000   | 161,330,923   | 274,077     |    |
|                                 | 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)  | △82,667,000   | △81,232,923   | △1,434,077  |    |
|                                 | 収入                      |               |               |             |    |
|                                 | 積立資産取崩収入                | 248,616,000   | 247,553,775   | 1,062,225   |    |
|                                 | その他の活動収入計(7)            | 248,616,000   | 247,553,775   | 1,062,225   |    |
|                                 | 支出                      |               |               |             |    |
|                                 | 長期運営資金借入金元金償還支出         | 104,530,000   | 104,530,000   | 0           |    |
|                                 | 積立資産支出                  | 292,988,000   | 292,178,400   | 809,600     |    |
|                                 | その他の活動支出計(8)            | 397,518,000   | 396,708,400   | 809,600     |    |
|                                 | その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | △148,902,000  | △149,154,625  | 252,625     |    |
| 予備費支出(10)                       |                         | 0             | —             | 0           |    |
| 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) |                         | △136,317,000  | △73,068,355   | △63,248,645 |    |
| 前期末支払資金残高(12)                   |                         | 770,413,549   | 770,413,549   | 0           |    |
| 当期末支払資金残高(11)+(12)              |                         | 634,096,549   | 697,345,194   | △63,248,645 |    |

法人単位事業活動計算書  
(自)2025年 4月 1日 (至)2026年 3月31日

(単位:円)

| 勘定科目                  |                                    | 当年度決算(A)      | 前年度決算(B)      | 増減(A)-(B)    |
|-----------------------|------------------------------------|---------------|---------------|--------------|
| サービス活動増減の部            | 収益                                 |               |               |              |
|                       | 介護保険事業収益                           | 1,246,926,565 | 1,299,452,029 | △52,525,464  |
|                       | 老人福祉事業収益                           | 323,075,504   | 308,171,639   | 14,903,865   |
|                       | 児童福祉事業収益                           | 470,376,080   | 442,667,271   | 27,708,809   |
|                       | 保育事業収益                             | 112,237,423   | 116,063,880   | △3,826,457   |
|                       | 就労支援事業収益                           | 37,681,024    | 40,440,142    | △2,759,118   |
|                       | 障害福祉サービス等事業収益                      | 795,409,248   | 796,526,661   | △1,117,413   |
|                       | その他の事業収益                           | 42,743,600    | 41,311,400    | 1,432,200    |
|                       | 経常経費寄附金収益                          | 7,238,154     | 17,545,874    | △10,307,720  |
|                       | その他の収益                             | 39,127,833    | 30,105,729    | 9,022,104    |
|                       | サービス活動収益計(1)                       | 3,074,815,431 | 3,092,284,625 | △17,469,194  |
|                       | 費用                                 |               |               |              |
|                       | 人件費                                | 1,764,026,034 | 1,800,195,704 | △36,169,670  |
|                       | 事業費                                | 670,855,374   | 681,099,140   | △10,243,766  |
|                       | 事務費                                | 399,424,778   | 462,155,087   | △62,730,309  |
|                       | 就労支援事業費用                           | 44,827,448    | 44,811,530    | 15,918       |
|                       | 利用者負担軽減額                           | 11,244,905    | 9,502,335     | 1,742,570    |
|                       | 減価償却費                              | 249,613,219   | 250,365,689   | △752,470     |
|                       | 国庫補助金等特別積立金取崩額                     | △108,359,214  | △109,372,609  | 1,013,395    |
|                       | 徴収不能額                              | 404,346       | 0             | 404,346      |
|                       | その他の費用                             | 23,349,052    | 23,349,052    | 0            |
|                       | サービス活動費用計(2)                       | 3,055,385,942 | 3,162,105,928 | △106,719,986 |
|                       | サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)              | 19,429,489    | △69,821,303   | 89,250,792   |
| サービス活動外増減の部           | 収益                                 |               |               |              |
|                       | 受取利息配当金収益                          | 6,435,628     | 6,367,847     | 67,781       |
|                       | 積立資産評価益                            | 17,610,000    | 0             | 17,610,000   |
|                       | その他のサービス活動外収益                      | 7,227,940     | 6,333,831     | 894,109      |
|                       | サービス活動外収益計(4)                      | 31,273,568    | 12,701,678    | 18,571,890   |
|                       | 費用                                 |               |               |              |
|                       | 支払利息                               | 5,092,133     | 5,491,132     | △398,999     |
|                       | 投資有価証券売却損                          | 0             | 4,995         | △4,995       |
|                       | 積立資産評価損                            | 15,815,000    | 19,875,000    | △4,060,000   |
|                       | その他のサービス活動外費用                      | 8,623,524     | 4,649,235     | 3,974,289    |
|                       | サービス活動外費用計(5)                      | 29,530,657    | 30,020,362    | △489,705     |
|                       | サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)             | 1,742,911     | △17,318,684   | 19,061,595   |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6)     |                                    | 21,172,400    | △87,139,987   | 108,312,387  |
| 特別増減の部                | 収益                                 |               |               |              |
|                       | 施設整備等補助金収益                         | 76,928,000    | 40,689,500    | 36,238,500   |
|                       | 施設整備等寄附金収益                         | 3,100,000     | 4,100,000     | △1,000,000   |
|                       | 固定資産売却益                            | 69,998        | 133,523,149   | △133,453,151 |
|                       | 特別収益計(8)                           | 80,097,998    | 178,312,649   | △98,214,651  |
|                       | 費用                                 |               |               |              |
|                       | 固定資産売却損・処分損                        | 46,177,924    | 36,943,457    | 9,234,467    |
|                       | 国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)                | △27,276,332   | 0             | △27,276,332  |
|                       | 国庫補助金等特別積立金積立額                     | 76,928,000    | 40,689,500    | 36,238,500   |
|                       | 特別費用計(9)                           | 95,829,592    | 77,632,957    | 18,196,635   |
|                       | 特別増減差額(10)=(8)-(9)                 | △15,731,594   | 100,679,692   | △116,411,286 |
| 当期活動増減差額(11)=(7)+(10) |                                    | 5,440,806     | 13,539,705    | △8,098,899   |
| 繰越活動増減差額の部            | 前期繰越活動増減差額(12)                     | 1,908,384,878 | 1,992,657,030 | △84,272,152  |
|                       | 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)          | 1,913,825,684 | 2,006,196,735 | △92,371,051  |
|                       | 基本金取崩額(14)                         | 0             | 0             | 0            |
|                       | その他の積立金取崩額(15)                     | 216,165,000   | 65,526,104    | 150,638,896  |
|                       | その他の積立金積立額(16)                     | 267,766,205   | 163,337,961   | 104,428,244  |
|                       | 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16) | 1,862,224,479 | 1,908,384,878 | △46,160,399  |

第三号第一様式

法人単位貸借対照表  
2026年 3月31日現在

(単位:円)

| 資産の部       |               |               |              | 負債の部              |               |               |              |
|------------|---------------|---------------|--------------|-------------------|---------------|---------------|--------------|
| 勘定科目       | 当年度末          | 前年度末          | 増減           | 勘定科目              | 当年度末          | 前年度末          | 増減           |
| 流動資産       | 983,524,411   | 1,077,802,143 | △94,277,732  | 流動負債              | 385,148,032   | 509,215,796   | △124,067,764 |
| 現金預金       | 542,142,064   | 574,705,193   | △32,563,129  | 短期運営資金借入金         | 150,000,000   | 100,000,000   | 50,000,000   |
| 事業未収金      | 373,376,429   | 437,037,026   | △63,660,597  | 事業未払金             | 75,965,058    | 108,356,440   | △32,391,382  |
| 未収金        | 824,660       | 801,635       | 23,025       | その他の未払金           | 671,000       | 25,643,808    | △24,972,808  |
| 未収補助金      | 41,360,883    | 32,150,415    | 9,210,468    | 1年以内返済予定設備資金借入金   | 52,522,000    | 55,082,000    | △2,560,000   |
| 医薬品        | 336,593       | 521,942       | △185,349     | 1年以内返済予定長期運営資金借入金 | 4,530,000     | 104,530,000   | △100,000,000 |
| 商品・製品      | 462,500       | 504,650       | △42,150      | 1年以内返済予定リース債務     | 14,755,600    | 14,285,460    | 470,140      |
| 原材料        | 7,382,314     | 7,704,852     | △322,538     | 未払費用              | 41,672,514    | 51,383,196    | △9,710,682   |
| 立替金        | 5,499,274     | 8,192,932     | △2,693,658   | 預り金               | 5,671,918     | 5,239,046     | 432,872      |
| 前払金        | 180,770       | 180,770       | 0            | 職員預り金             | 1,518,942     | 5,588,846     | △4,069,904   |
| 前払費用       | 11,958,924    | 16,002,728    | △4,043,804   | 賞与引当金             | 37,841,000    | 39,107,000    | △1,266,000   |
| 固定資産       | 4,529,053,130 | 4,682,303,822 | △153,250,692 | 固定負債              | 756,817,314   | 827,011,234   | △70,193,920  |
| 基本財産       | 3,071,347,703 | 3,248,077,593 | △176,729,890 | 設備資金借入金           | 411,866,000   | 464,388,000   | △52,522,000  |
| 土地         | 51,575,088    | 51,575,088    | 0            | 長期運営資金借入金         | 9,060,000     | 13,590,000    | △4,530,000   |
| 建物         | 3,018,772,615 | 3,195,502,505 | △176,729,890 | リース債務             | 39,362,460    | 44,673,680    | △5,311,220   |
| 定期預金       | 1,000,000     | 1,000,000     | 0            | 退職給付引当金           | 294,279,854   | 301,778,554   | △7,498,700   |
| その他の固定資産   | 1,457,705,427 | 1,434,226,229 | 23,479,198   | 役員退職慰労引当金         | 2,249,000     | 2,581,000     | △332,000     |
| 土地         | 34,629,757    | 64,914,764    | △30,285,007  | 負債の部合計            | 1,141,965,346 | 1,336,227,030 | △194,261,684 |
| 建物         | 106,597,446   | 134,148,590   | △27,551,144  | 純資産の部             |               |               |              |
| 構築物        | 23,239,151    | 28,165,447    | △4,926,296   | 基本金               | 204,186,865   | 204,186,865   | 0            |
| 機械及び装置     | 5,380,559     | 2,989,379     | 2,391,180    | 国庫補助金等特別積立金       | 1,510,697,421 | 1,569,404,967 | △58,707,546  |
| 車輛運搬具      | 1,426,240     | 3,747,854     | △2,321,614   | その他の積立金           | 793,503,430   | 741,902,225   | 51,601,205   |
| 器具及び備品     | 131,064,798   | 83,449,379    | 47,615,419   | 建設積立金             | 91,616,741    | 91,890,191    | △273,450     |
| 有形リース資産    | 49,492,987    | 49,681,676    | △188,689     | 人件費積立金            | 73,216,591    | 65,439,000    | 7,777,591    |
| 権利         | 3,713,334     | 3,733,334     | △20,000      | 施設整備等積立金          | 595,151,214   | 551,053,150   | 44,098,064   |
| ソフトウェア     | 3,172,571     | 2,645,072     | 527,499      | 工賃変動積立金           | 2,750,000     | 2,750,000     | 0            |
| 無形リース資産    | 5,855,300     | 8,750,060     | △2,894,760   | 設備整備積立金           | 13,000,000    | 13,000,000    | 0            |
| 退職給付引当資産   | 294,279,854   | 301,778,554   | △7,498,700   | 奨学資金積立金           | 17,768,884    | 17,769,884    | △1,000       |
| 役員退職慰労引当資産 | 2,249,000     | 2,581,000     | △332,000     | 次期繰越活動増減差額        | 1,862,224,479 | 1,908,384,878 | △46,160,399  |
| 建設積立資産     | 91,616,741    | 91,890,191    | △273,450     | (うち当期活動増減差額)      | 5,440,806     | 13,539,705    | △8,098,899   |
| 人件費積立資産    | 73,216,591    | 65,439,000    | 7,777,591    | 純資産の部合計           | 4,370,612,195 | 4,423,878,935 | △53,266,740  |
| 施設整備等積立資産  | 595,151,214   | 551,053,150   | 44,098,064   | 負債及び純資産の部合計       | 5,512,577,541 | 5,760,105,965 | △247,528,424 |
| 工賃変動積立資産   | 2,750,000     | 2,750,000     | 0            |                   |               |               |              |
| 設備整備積立資産   | 13,000,000    | 13,000,000    | 0            |                   |               |               |              |
| 奨学資金積立資産   | 17,768,884    | 17,769,884    | △1,000       |                   |               |               |              |
| 長期前払費用     | 0             | 2,607,895     | △2,607,895   |                   |               |               |              |
| その他の固定資産   | 3,101,000     | 3,131,000     | △30,000      |                   |               |               |              |
| 資産の部合計     | 5,512,577,541 | 5,760,105,965 | △247,528,424 |                   |               |               |              |

## (福)黒松内つくし園各事業所 2025年度事業報告

### 児童養護施設

#### 黒松内つくし園

令和7年度は定員の変更は行わず60名定員でスタートした。年度当初は本園55名、ホームすぎな6名でスタートし、初日入所率は90%を下回る月もあったが延べ日数計算では90%以上の入所率を確保する事が出来た（ホームすぎなは100%）。職員配置基準については年度途中での退職者はいしたが、年間を通して4.0・1の配置基準を満たしていた事で安定した施設経営を維持する事ができた。

数年課題となっていた人材確保についてはパート・臨時職員も含めて採用はしているがそれ以上に退職者数が多い為、年々職員が減少している状態で職員の確保が今後も最大の急務である。

支援面においては権利擁護の侵害が起らない様に努め、心理士を中心として支援の向上と児童との関わり方の研修を行っていたが、支援の難しい児童の関わりにおいて対応

に苦慮するケースも多々あった。人材不足で体制が整わない中でも行事については、児童が楽しめる内容の工夫等しながら実施する事が出来た。

感染症については重症化する者はいなく職員一丸となって乗り切る事で期間は短く防ぐことが出来た。

施設整備については予定していた整備はほぼ完了する事ができ、居室全室にエアコンの設置も完備できた事で児童の熱中症対策と環境整備にも繋がった。

人材確保と合わせて職員の資質向上という課題もあるが、小規模化に向けた改修の施設整備

積立金と人件費積立をする事もでき、概ね安定した施設運営であった。



### 認定こども園

#### 黒松内保育園

本年度も法人の倫理綱領・定款理念・保育園基本理念のもと事業を推進してまいりました。

認定こども園（保育所型）となり黒松内町の子ども達を教育・養護・保育する唯一の施設として、子ども一人ひとりの発達に応じた「10の姿」を盛り込んだ保育計画を実施してきました。

地域唯一の就学前施設としての役割を十分に果たせるよう関係機関と連携を深め、個別支援にも力を入れていきます。幼保小連携では継続して進めてきたことが子どもにより良いステップとなっておりま。

感染症などを考慮し、保育を進めるために環境整備を行いました。また、園に併設している子育て支援センターでの地域貢献事業の取り組みも地域の方々にも定着しております。特に一時預かり事業は、気軽に利用できる機関として保護者の皆様にも好評を頂いており他園の支援センターの見学も実施しました子どもの自主性を育む事を中心



に保育を目指し、自然との関わりを積極的に取り入れてきました。職員の働く意義を持てる職場になるように業務改善やweb研修を取り入れ人材育成に努めました。しかし、保育人材の確保・定着については困難な状況であります。

今年度より、町の委託事業として子ども家庭センターの業務と誰でも通園制度（乳児等支援給付制度）の事業を新たに実施してまいります。どちらも児童養育に係る事業なのでしっかりと取り組んでまいります。

入園児童は転出等により減少傾向にありますが、安定した運営を維持してまいります。

## 養護老人ホーム 緑ヶ丘老人ホーム

拠点内の各事業所が連携を図り、事業展開を行ってきました。養護部門については、次期運営体制を見据えた定員調整を行い、4月当初の65名から3月末には55名へと推移しました。特定施設については、異動や入院による欠員が重なり、稼働率は59・4%と低迷しました。短期入所は稼働率39・5%と上回りました。デイサービスセンターは、長期入院や体調不良による利用休止者が相次いだ影響で、年間を通じた稼働率は60%台に留まる結果となりました。一方で黒松内町からの委託事業「まる元体操」をきっかけとした新規利用に繋がる好事例もありました。今後地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との連携を深めるとともに、積極的なPR活動を展開し、稼働率の回復に努めていきます。居宅介護支援事業所は、職員の異動により経験の浅い2名体制となりましたが、拠点内ケアマネのサポートを受けながら一歩ずつ経験を重ねてきました。

地域包括支援センターは、今

年度より黒松内町からの委託を受け、新たな運営体制へと移行しました。保健師および主任介護支援専門員の2名体制を整えたことで、予防支援・ケアマネジメントに加え、総合相談や包括的・継続的マネジメント、さらには在宅医療と介護連携の推進といった重点項目においてもより手厚く取り組むことができました。

今年度は職員の退職や雇用形態の変更が相次ぎ、限られた人員体制での運営を余儀なくされました。個々の負担が増大する局面もありましたが、職員の頑張り、組織としての結束力を高めることで難局を乗り切ることができました。様々な課題も見えた一年でしたが、次年度に繋がる粘り強い運営を実現できた一年でもありました。



## 特別養護老人ホーム 緑ヶ丘ハイツ

将来を見据え、入所定員を42名に減員し、職員配置も適正化して1年が経過しました。入所者数は概ね40名で推移したものの、入院者の増加や予期せぬ死亡退所により収入は計画を下回る結果となりました。また、待機者の確保に向け、近隣町村や医療機関、関係施設へのPR活動を継続しましたが、依然として厳しい状況が続いています。

さらに、コストの見直しと最適化に取り組みましたが、物価高騰による光熱費の増加や設備修繕費の発生により、支出面でも厳しい経営状況となりました。一方、限られた職員体制の中においても、大きな事故もなく一年を終えることが出来ました。職員1人ひとりが利用者の思いに寄り添い、安心して生活できる環境づくりに努めるとともに、施設全体で連携しながら支援や行事を実施し、利用者と職員が共に共有・共感できるサービスの提供に取り組みました。また、運営体制の変更に伴う課題にも

互いに協力しながら対応し、共通の価値観を持って業務改善を進めました。

法令遵守と事故防止については、ヒヤリハットや事故発生時に迅速な情報共有と原因分析を行い、再発防止に努めました。

職員1人ひとりが高い倫理観と法令遵守の意識を持ち、利用者の安全と信頼を第一にサービスを提供することができました。今後も職種を超えた連携をさらに強化するとともに、1床の重要性を全職員が共有し、安定した施設運営と経営改善を図りな

がら、利用者が安心して生活できる質の高いサービスの提供に努めてまいります。



## 介護老人保健施設

## 湯の里・黒松内

長期入所では、高稼働率を確保すべく近隣市町村関係機関、病院等への働き掛けを行って、まいりました。新しい事業所などからの新規利用者の確保も進めました。退所者が16名と多くおり厳しい運営状況となりました。

短期入所では定期利用の方の入所等もあり稼働が低迷しました。通所リハビリでは、利用者確保に努め、施設のPRも含め長期入所の窓口としての役割を十分果たしてきました。

職員の状況では、特定技能外国人の任期満了により3名が退職するなど、年度当初の65名から3月で57名となりました。そのような中でも大きな事故もなく利用者が安心して生活できるように取り組んでまいりました。

社会貢献事業では、ビーフ天国やマラソン大会等の町内行事参加、泊村原子力防災訓練協力、黒松内社協から依頼のあった高齢者世帯の除雪ボランティア等も継続して実施しました。

施設整備では、黒松内町のご理解のもと利用者の快適な生活の支援のため、温泉濾過機の更新等を実施しました。

今後も黒松内町と常に情報共有を図りご理解・ご協力を頂きながら利用者の安全で安心のできる施設運営に努めてまいります。

当年度は開設25周年ということで今までの利用者支援を振り返り、利用者一人ひとりが心豊かで快適な生活を送り、意向や想いに添えるよう専門職が連携しながら支援してまいります。



## 障がい者支援施設

## 後志リハビリセンター

2025年度は入所者の安定的な確保に向け、各関係事業所との連携強化に努めるとともに、7月に運営規程を改正し、入所対象者の範囲を拡大しました。

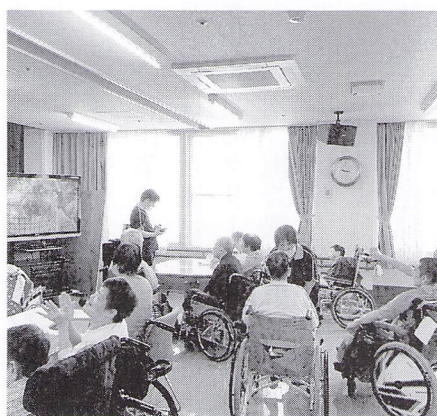
このことにより、新たに対象となった方2名の入所につながることができました。結果として、年度当初の入所者36名に対し、年度中は入所5名、退所5名と同数となり、稼働率の向上を達成することには至りませんでした。引き続きPR活動を推進し、入所者の安定確保に向けた取り組みを強化することとしております。

昨今、頻回に発生している「障害者虐待事案」について、「対岸の火事」として傍観することなく、毎月開催する職員会議や主任副主任会議において、法人が定める倫理綱領や虐待防止に係る月間テーマを職員に周知し、当事者意識の醸成に努めるとともに、アンガーマネジメント等の研修に全職員が参加し、一体感を持ってこれら事案の発生予防に努めました。

防に努めました。

また、入所者個人の尊厳の保持とその人らしい生活を送ることができるよう、平素から入所者の意向をきめ細かく把握するとともに、個々の特性や状態を理解し、各専門職で構成する支援会議を通じて、課題解決に向けた方策や状況に即したケア内容など、適切な支援計画の策定に努めました。

職員については、当初47名でスタートし年度中は採用4名、退職・異動4名と同数で推移しました。今後とも人員配置加算の1.15を維持し、手厚いケアを継続するとともに、入所者がいつでも安心して安全に暮らすことができる施設づくりを推進します。

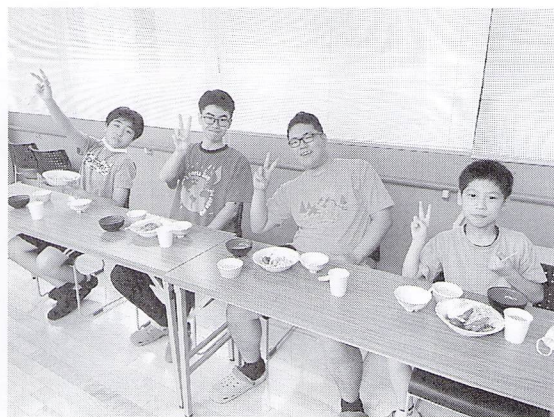


## 障がい児入所施設

## しりべし学園

利用者状況としては、年度当初は入所利用者22名でスタートし、その後、措置利用3名、契約利用1名が入所し26名となった。年間を通して入所に係る照会が15ケース以上あったが、中学男児が多く職員体制が整わずに受入ができず満床にはできなかった。高校3年生4名の施設移行については関係機関と連携しながら希望の進路に移行することができた。また、小学6年生女児1名、中学1年生男児1名が家庭復帰となり退所した。

在籍利用者の中には強度行動障害、虐待体験や心的外傷等により心理的な支援の必要な利用者や、複数の障害があり医療も含め関係機関と連携した支援が必要なケアニーズの高い利用者が多くなっている中で、各種研修会への参加だけでなく、外部講師を招いての研修会を計画し、町内の関係機関にも呼びかけ講演、ケース検討を実施し支援の参考とした。余暇支援については、外出支援や季節に応じた行



事等を計画し順次実施するとともに、利用者からの要望により新しい行事を計画し、準備の段階から利用者にも参画してもらい実施することができた。

児童デイは児童発達支援11名、放課後デイ33名のあわせて44名の療育活動を実施している。利用ニーズは高く新規利用受け入れの相談もある。また、職員体制については6月育児休暇中だった主任が復帰、7月から保育士が産休に入ったが、課長は療育の現場から離れる体制を取り4名体制で療育を実施し、課長を中心に児童デイ、入所の支援の充実に努める体制をとった。

## 障がい者支援施設

## しりべし学園成人寮

しりべし学園成人寮は生活介護52名、施設入所57名でのスタートとなりましたが、3月末現在で生活介護51名、施設入所56名となりました。また、生活介護の定員数を9月から50名に変更しました。

利用者の意思決定の支援・権利擁護の遵守など不適切な支援、虐待0に向けて意識改革を行いました。全職員を対象とした虐待防止研修を4月に開催し、新任職員を含め年度当初から意識づけをすることができ、事業所や職員個々の意識向上が伺えました。重度化・高齢化に対応できるよう強度行動障害に関する研修や介護技術の習得に向けた研修の受講をしました。また、全道知的障害福祉協会主催の研修会に出席し、介護ICTについて等の研修を受講しました。

家族アンケートの集計結果を元に家族への電話連絡について意識的に取り組みを行いました。年度初めや年度終わりに担当職員のあいさつや行事後の様子報

告などを行い、概ね好評を頂きました。

しりべしワークセンターセオスでは各作業の品質に関して概ねお客様から満足頂いています。新規事業のクリーニング課のリース事業、園芸課の泊村への花苗の販売では収入を大幅に伸ばすことができました。地域貢献事業として、苗植え交流会、しめ縄交流会を開催しています。

いずみホームでは定期受診、健康診断を通して健康管理に努めました。高齢の利用者が増加していることに伴い、必要なサービス提供のために各関係機関と連携し、利用者の次のステップに向けて検討を行いました。

## 地域

連携推進会議を開催し議事録を法人ホームページに掲載しました。



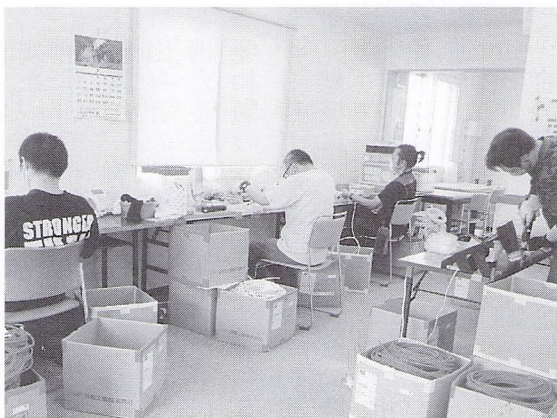
## 倶知安地区事業所

2025年度は、事業統合後初年度にあたり年度当初より経営及び運営について非常に不透明な状態でのスタートでありました。

倶知安地区の課題である「経営」については、就労継続支援B型事業を統合したことで一定の成果があったと評価しており、拠点結果についても一定の結果を出すことができたという評価しております。一方で、職員人材の確保については、入退職はあったものの羊蹄セルプでは1人の減に留まりましたが、つくしホームでは病欠による休職が相次いだため運営も困難を極め、さらには取得していた加算を落としてしまう事態となり経営にも大きく影響を及ぼしています。

事業統合により、乗り越えた課題がある一方で積み残している課題も多数あり、特に羊蹄セルプの利用者確保については新規獲得した利用者の人数以上に一般就労による退所などで減員となり、それに相まって体調不良等の利用者も増加し年度末に

向け稼働率が低下しました。また、生産事業収入についても、主たる生産事業である納豆製造部門において収益が減少。それを別作業で収益を補う結果となり、当初予定しておりました金額を大幅に下回る結果となり、26年度の工賃ランクを2ランク落とすこととなりました。まずは、今年度の結果は単年度の結果であり、必要なのはそれを継続していくこととなるため、次年度も利用者及び職員の確保、生産事業収益を増額するための取り組みの強化を行うため、倶知安地区一丸となり引き続き事業運営に努めて参ります。



## えぞふじ納豆

蝦夷富士（羊蹄山）の湧水を使用した  
手作り納豆をご賞味ください。



しょうがいしゃの就労と生活を支える

## 羊蹄セルプ

TEL (0136) 23-0425 FAX (0136) 22-1985

URL <http://www.selp.jp/>

## しりべしワークセンターセオス

当事業所(就労継続支援B型事業)は、障がいを持った方の就労支援をサポートしております。お仕事のご相談などお気軽にお問合せください。

**クリーニング課** ワイシャツ(170円～)・スーツ(紳士1,400円～)・毛布(800円～)・制服(1,100円～)・ジャンパー(650円～)・スポン(500円～)など

**印刷課** 名刺(850円～)・封筒・用紙・製本・大判印刷・伝票・挨拶状・年賀状・シール・クリアフォルダー・データ作成 など

**園芸課** 花苗・野菜苗・しめ縄・椎茸・和紙・ポストカード・切り絵



〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内565番地2 E-mail: [s.gakuenseiseosou@tsukushien.or.jp](mailto:s.gakuenseiseosou@tsukushien.or.jp)

**クリーニング課** TEL.0136-72-3914 **印刷課** TEL・FAX.0136-72-3820 **園芸課** TEL.0136-77-2950 FAX.0136-72-3952

## 養護老人ホーム 特別養護老人ホーム

### 老人福祉施設 慶和園

地域との連携強化により稼働率が向上。「地域になくはない慶和園」を目指す。

昨年度は、最優先課題として取り組んだ「養護・特養入所稼働率95%確保」について全体で95・1%、養護で96・8%、特養で93・4%、（前年度対比養護6%、特養1%UP）を達成することができました。



地域連携推進会議の様子

相談員を中心に計画的に関係機関との情報共有（挨拶回りやメールでのやりとり等）を推進した他、入所希望者の情報共有について、年3回「地域連携推進会議」を開催したことでスムーズな受け入れ体制を築くことが出来ました。

関係機関の皆様のご協力に感謝いたします。

また、昨年度は京極町内の方にご利用していただけるケースが大変多く、特養においては京極町出身者の利用率が全体の70%を越えるまでに至りました。

慶和園の5か年計画（令和5年～9年）の目標に掲げています「地域になくはない慶和園」の達成に向け、今後も地域住民に愛される施設づくりを推進していきます。

介護現場の実践的な研修として、前年度に引き続きご本人が主役となるケア「動き出しはご本人から」の取り組みを実施し、導入研修（3回／年）及び定着研修（2回／年）、慶和園実践報告会において各ユニットにおける実践動画の共有（若手職員への取り組みの浸透など）を図り、その理解を深めることができました。新年度においてもこの取り組みを継続させ、ご利用者が主体的に生活を送れるよう支援して参ります。

経営面においては、物価高騰が顕著となり経営を圧迫している状況で、新たな加算算定の取得及びコスト削減の努力を重ねました。

## 養護老人ホーム

### 特別養護老人ホーム

#### 泊村老人ホーム むつみ荘

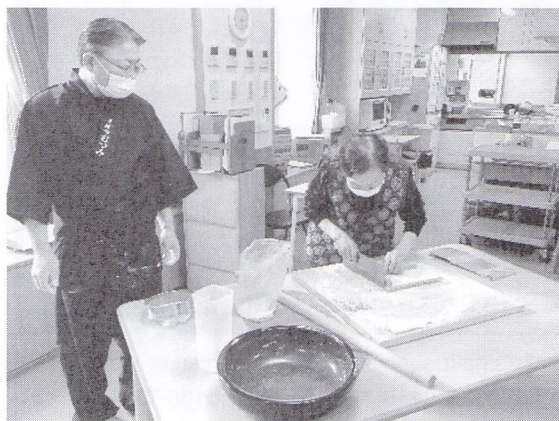
施設のケア方針として「その人の立場に立つて考え行動する」を掲げ、入居者様が自律した生活を送ることができるよう、職員一同、高齢者福祉に関する専門知識や技術の向上に努めました。また、業務の効率化・円滑化を進めるにあたりICT機器（見守りシステム）等の先端技術を導入することができ、研修会も定期的に実施しております。特養では、昨年からユニットリーダー研修実地研修施設となり積極的に全国から研修生を受け入れることができ、職員もいい刺激をもって取り組んでまいりました。

養護では、入居者の地元のお祭り行事などにも職員と一緒に参加し「地域に根差した施設」として、養護老人ホームの必要性もご理解されてきたと考えます。家族交流会も開催ができ、ご家族との信頼関係に努めました。また、むつみ荘祭りでは、法人・村役場・ボランティアの

協力をいただき盛大に開催することができました。ご家族や地域の皆さんからも高い評価をいただいております。

2025年度の稼働率につきましては、養護むつみ荘が96・6%、特養むつみ荘が88・5%と養護・特養どちらも前年度より減少となりました。今年度からは、毎月実施しております協力医療機関との会議や泊村地域連携会議などに継続して参加し情報を共有してまいります。

今後もより安全で安心な施設づくりを行えるよう引き続き人材確保及び安定的な運営を進めてまいります。



## 施設長・副施設長名簿

社会福祉法人黒松内つくし園

2026年7月1日 現在

| 施 設 名                 |                 | 職 名           | (ふ り が な)<br>氏 名              | 就任年月日      |                         |
|-----------------------|-----------------|---------------|-------------------------------|------------|-------------------------|
| 児童養護施設                | 黒松内つくし園         | 施設長           | ふじ だ つよし<br>藤 田 剛             | 2023年4月1日  |                         |
| 地域小規模児童養護施設           | ホームすぎな          |               |                               |            |                         |
| 子育て短期支援事業             | 黒松内つくし園         |               |                               |            |                         |
| 養護老人ホーム               | 緑ヶ丘老人ホーム        | 施設長           | おか ひさ けん いち<br>岡 久 健 一        | 2023年4月1日  |                         |
| 短期入所生活介護事業            |                 |               |                               |            |                         |
| 特定入居者生活介護             |                 |               |                               |            |                         |
| 訪問介護等事業               |                 |               |                               |            | 黒松内つくし園ホームヘルプステーション 休止中 |
| 包括支援センター事業            |                 |               |                               |            | 黒松内町地域包括支援センター          |
| 居宅介護支援事業              |                 |               |                               |            | 黒松内つくし園居宅介護支援事業所        |
| 老人ディサービス事業            | 黒松内町ディ・サービスセンター |               |                               |            |                         |
| 福祉型障害児支援施設            | しりべし学園          | 施設長           | と富 がし こう き<br>富 樫 孝 貴         | 2021年4月1日  |                         |
| 短期入所事業                |                 |               |                               |            |                         |
| 移動支援事業                |                 |               |                               |            |                         |
| 児童ディサービス              |                 |               |                               |            |                         |
| 日中一時支援                | しりべし学園日中一時支援    |               |                               |            |                         |
| 障がい者支援施設              | しりべし学園成人寮       | 常務理事<br>施設長   | あそ べ ま すみ<br>遊 部 真 澄          | 2018年4月1日  |                         |
| 短期入所事業                |                 |               |                               |            |                         |
| 就労支援事業                |                 |               |                               |            | しりべしワークセンターセオス          |
| 共同生活援助                |                 |               |                               |            | いずみホーム                  |
| 特定相談支援事業所             |                 |               |                               |            | 黒松内つくし園特定相談支援事業所（障害児）   |
| 特定相談支援事業所             |                 |               |                               |            | 黒松内つくし園特定相談支援事業所        |
| 障がい者支援施設              | 後志リハビリセンター      | 理事・施設長        | たか はし ひで とし<br>高 橋 英 俊        | 2025年4月1日  |                         |
| 短期入所事業                |                 | 副施設長          | せい の のぶ あき<br>清 野 伸 晃         | 2026年4月1日  |                         |
| 特別養護老人ホーム             | 緑ヶ丘ハイツ          | 業務執行理事<br>施設長 | よし だ たけし<br>吉 田 剛             | 2021年4月1日  |                         |
| 短期入所生活介護事業            |                 |               |                               |            |                         |
| 就労支援事業                | 羊蹄セルブ           | 施設長           | おお せこ たく や<br>大 迫 拓 哉         | 2020年4月1日  |                         |
| 福祉ホーム                 | 羊 蹄             |               |                               |            |                         |
| 共同生活援助                | つくしホーム          |               |                               |            |                         |
| 生活支援ハウス               | 和               |               |                               |            |                         |
| 無料又は低額介護老人保健施設        | 湯の里・黒松内         | 総合施設長         | なか た はる お<br>仲 田 治 夫          | 2024年11月1日 |                         |
| ユニット型介護老人保健施設         |                 | 施設長           | しま ひろ し<br>嶋 宏 志              | 2023年4月1日  |                         |
| 短期入所療養介護              |                 |               |                               |            |                         |
| 通所リハビリテーション           |                 | 副施設長          | おか だ かず ゆき<br>岡 田 一 之         | 2026年7月1日  |                         |
| 訪問リハビリテーション           |                 |               |                               |            |                         |
| 養護老人ホーム               | 慶和園             | 理事・施設長        | しが や つよし<br>澁 谷 剛             | 2015年4月1日  |                         |
| 短期入所生活介護事業            |                 |               |                               |            |                         |
| 特別養護老人ホーム             | ユニットケア慶和園       | 副施設長          | やま なか さち よ<br>山 中 幸 代<br>(兼務) | 2020年4月1日  |                         |
| 短期入所生活介護事業            |                 |               |                               |            |                         |
| 短期入所生活介護障がい           |                 |               |                               |            |                         |
| 養護老人ホーム               | 泊村養護老人ホームむつみ荘   | 施設長           | の ざき さち お<br>野 崎 幸 男<br>(兼務)  | 2025年4月1日  |                         |
| 短期入所生活管理指導事業受託事業      |                 |               |                               |            |                         |
| 特別養護老人ホーム             |                 |               |                               |            | 泊村特別養護老人ホームむつみ荘         |
| 短期入所生活介護事業            |                 |               |                               |            |                         |
| 認定こども園                | 認定こども園黒松内保育園    | 施設長           | すぎ むら かつ し<br>杉 村 克 司         | 2025年7月1日  |                         |
| 社会福祉法人黒松内つくし園<br>法人本部 | 経営企画部           | 部 長           | さ さ き つかさ<br>佐々木 司            | 2026年4月1日  |                         |
|                       |                 | 次 長           | お がわ のぶ お<br>小 川 展 生          | 2026年4月1日  |                         |
|                       | 人事部             | 部 長           | おい きり さ お り<br>追 切 さ お り      | 2023年4月1日  |                         |

## インドネシアより新しい スタッフ8名が仲間入り！

今年度の特定技能外国人受入れとして、6月にインドネシアから8名の介護職員を採用しました。今年度の配属施設は、しりべし学園成人寮が1名、後志リハビリセンターが2名、湯の里・黒松内が1名、ユニットケア慶和園が1名、泊村特別養護老人ホームむつみ荘が3名となります。



介護分野での紹介実績を多く持ち、特定技能人材の教育・紹介・生活、定着支援サービスを展開している株式会社ONOD

ERA USER RUN（オノデラユーザーラン）様のご支援により、6月29日に新千歳空港へ無事に入国しました。それぞれの配属先である黒松内町と京極町、泊村に到着しました。



今回は入国日が住宅入居日でもあるため、スムーズに生活を開始できるよう、買い物場所や所要時間などを事前に計画したうえで対応しました。

大型ショッピングモールではシャンプーや洗濯洗剤などの日用品のほか、職場で使用する上靴や、必要なお米や調味料などを事前に確認していた品物を中心に購入しました。

買い物を終え、住宅へ向かう

途中では、疲れから車内で休む姿も見られましたが、途中の有珠パーキングエリアで休憩した際には、雄大な噴火湾の景色や初夏の風を感じ、北海道の空気をいっぱい吸い込んでいた様子でした。

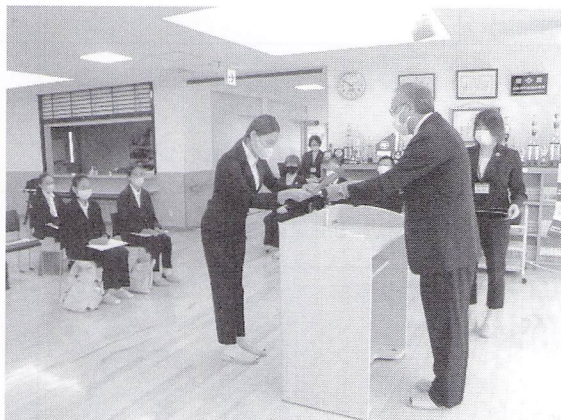
夕方には住宅に到着し、事前に準備されていた家具家電や、電気・水道・コンロなどの使用方法についての説明を受け、新生活の準備を進めました。

翌日は、登録支援機関の支援担当者との対応により、行政機関への住民登録や、銀行口座の開設を行いました。またスマートフォンへ登録支援機関アプリの設定も行い、安心して生活を送るための環境が整えられました。

## 特定技能外国人辞令交付式

しりべし学園成人寮地域交流スペース「ふらっと」にて、7月1日に特定技能外国人辞令交付式を行いました。辞令交付式では、岡久理事長より辞令が一人ひとりに手渡されました。写真Ⅱ。皆さん緊張した面持ちで式に臨んでいましたが、前に出

て日本語で自己紹介をすると、会場から温かい拍手が送られ、笑顔を見せる場面もありました。

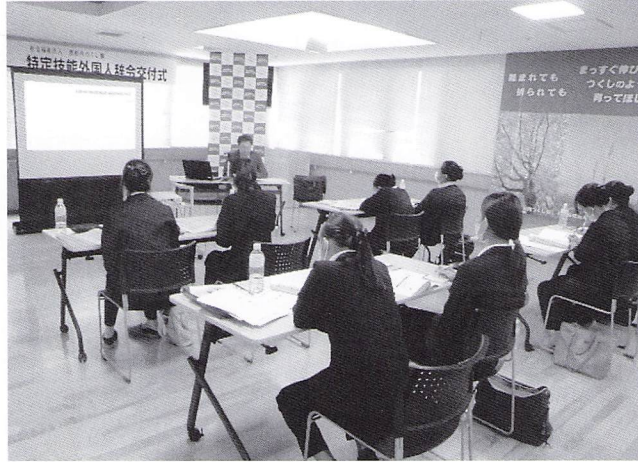


## 特定技能職員研修会開催

その後の研修会では、法人概要説明に加え、寿都警察署、黒松内駐在所、黒松内郵便局、黒松内消防支署、黒松内町役場住民課担当者を講師としてお招きし、「防犯と交通ルール」「銀行口座の使い方」「火事・救急について」「ごみの分別」についての講義をしていただきました。参加者は熱心にメモを取り、地震避難訓練では机の下に身を

隠す訓練を行うなど、真剣に取り組む姿が印象的でした。

研修会の実施にご協力いただいた関係機関の皆様、心より感謝申し上げます。



今回の採用により、当法人で働く外国人職員は48名となりました。現在、黒松内町では32名、京極町、泊村では各8名が勤務しています。国籍もインドネシア、カンボジア、ベトナム、ネパール、タイ、ミャンマーと多様化し、当法人は国際色豊かな職場となっています。

これから日本での生活や仕事に

少しずつ慣れ、仲間とともに充実した毎日を過ごしてくれることを願っています。



## 法人会務の運営状況

(2026年5～7月開催分)

- ◆ 5月8日 虐待防止委員会
- ◆ 5月12日 施設長・副施設長会議
- ◆ 6月3日 監事監査
- ◆ 6月3日 虐待防止研修会
- ◆ 6月4日 監事監査
- ◆ 6月5日 第452回理事会
- ◆ 6月9日 施設長・副施設長会議
- ◆ 6月9日 苦情解決委員会
- ◆ 6月18日 リスクマネジメント委員会
- ◆ 6月26日 第58回評議員会
- ◆ 6月28日 ふれあいまつり
- ◆ 7月1日 特定技能外国人辞令交付式
- ◆ 7月14日 施設長・副施設長会議
- ◆ 7月15日 虐待防止委員会視察(羊蹄セルプ)
- ◆ 7月16日 相談員会議

## 「厚志に心から感謝申し上げます」

(令和8年5月1日から令和8年6月30日まで)敬称は略させていただきます

### お詫びとご案内

社会福祉法人黒松内つくし園会報「ブナの里」では、これまで法人へのご厚志をいただきました皆様のご芳名を掲載してきましたが、個人情報保護の観点から、個人の方からのご厚志の紙面掲載を控えさせていただきます。

当法人へのご厚志に感謝申し上げますとともに、どうぞご理解のほどよろしくお願い致します。

.....  
(有)小間旅館、黒松内町商工会女性部(以上黒松内町)、AD  
インシニエランスサービス、日本ガード株式会社(札幌市)



6月28日、しりべし学園・しりべし学園成人寮特設会場にて「第58回ふれあいまつり」を開催しました。しりべし学園開園60周年ということもあり、地域の皆様への感謝の思いを込めて7年ぶりに一般開放しました。

**地域の皆様とご一緒に！  
ふれあいまつり開催**

ステージでは、黒松内保育園の園児のお遊戯や嘉門純樹社中の華麗な舞踊、しりべし学園和太鼓クラブによる力強い演奏、黒松内吹奏楽団の素晴らしい演奏を披露し、会場は大いに盛り上がりました。最後にはしりべし学園開園60周年記念大抽選会を行い、来場された方はとても楽しんでおられました。

例年、好評の花の無料配布においては、利用者が丁寧な育てた花を配布し、たくさんの方に喜んでもらえました。店舗では、昨年に引き続きキッチンカーを誘致し、



その他にも各団体や法人内施設で店舗を出店していただき、皆様のご協力のもと大成功のうちに終えることができました。ご来賓の皆様や出演・出店していただいた皆様、ボランティアの皆様等のお力添えがあり、ふれあいまつりを無事に開催できたことを御礼申し上げます。「ふれあいまつり」は、地域と福祉の交流の場として大切なイベントです。今後も続けられるよう日々の支援を大切にしていきたいと思えます。この度は、ご協力ありがとうございました。



## 法人会報「ブナの里」第153号

発行年月日 令和8(2026)年7月31日発行  
発行 者 社会福祉法人 黒松内つくし園  
発行責任者 法人会報ブナの里広報委員会

社会福祉法人 **黒松内つくし園**

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内562番地1

電話: 0136 (77) 2833 FAX: 0136 (75) 7211

E-Mail: honbu1@viola.ocn.ne.jp

URL: <https://tsukushien.or.jp>